

# 子どもたちの声、聞こえていますか？

各世代  
1割いる！

## 世話をしている家族の有無

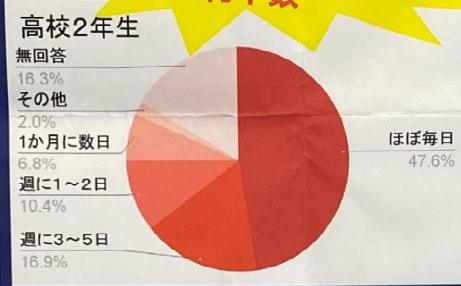
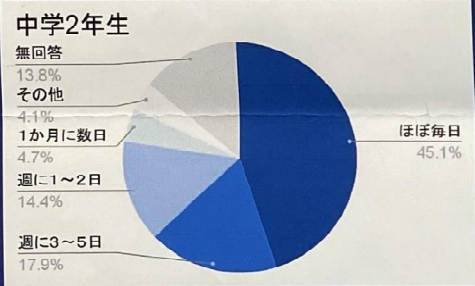


出典)保健師ジャーナル 医学書院(2022年8月号)P.263

## はじめに

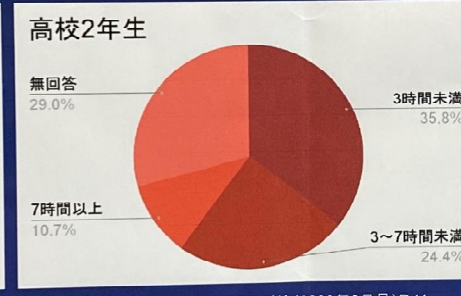
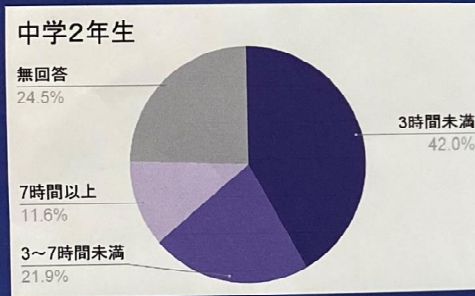
皆さんはヤングケアラーという言葉を知っていますか？これは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どもや若者を指します。少子高齢化が進む日本で、ヤングケアラーは身近な問題であると考え、その実態について知ろうと思いました。

## 家族の世話をしている頻度



ほぼ毎日の人が  
約半数

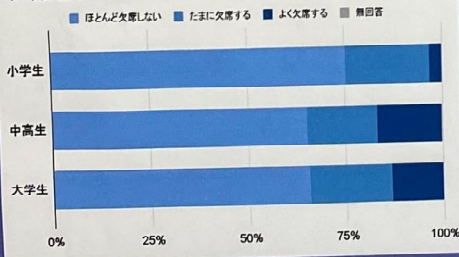
## 家族の世話に費やす時間



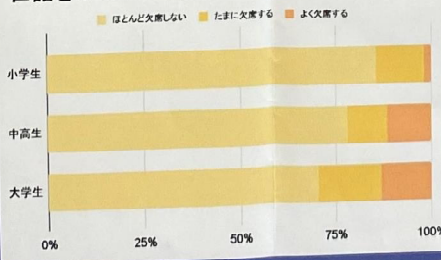
出典)看護展望 メヂカルフレンド社(2022年8月号)P.11

義務教育である**中学生**は、世話の時間が**3時間未満**の人の割合が**高く**、勉強時間がある程度確保できるかもしれませんが。しかし、**高校生**は、**3~7時間**の人の割合が増えていることから、**勉強や自由な時間が保証されにくくなっている**ことが考えられます。

## 世話をしている家族がいる人の出席状況



## 世話をしている家族がいない人の出席状況



出典)保健師ジャーナル 医学書院(2022年8月号)P.271

グラフから分かるように、世話をしている家族がいる生徒は世話をしている家族がいない生徒に比べて、**欠席する人の割合が多く、欠席しない人の割合が少ない**です。これにより、毎日進んでいく授業に追いつくことができなくなる可能性があります。



NHKの実態調査によると、世話をしている家族がいる生徒は中学生で17人に1人、全日制の高校生で24人に1人いるという結果があります。また、ヤングケアラーの6割以上が、誰かに相談した経験がないと答えています。よって、相談機能の充実が国の支援策としています。

## まとめ

ヤングケアラーは介護、家事、ケアをすることを負担として捉えていない方や、目の前の家族を優先したいと思っている方もいます。しかし、全ての子どもが持つべき権利を奪うことがあってはいけません。家族を大切に思う心を失わず、介護者と対象者が幸せに日々を送れるよう、ソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置を行い、相談できる環境を整えることが必要になるのではないのでしょうか。